



林野庁  
東北森林管理局  
津軽白神森林生態系  
保全センター  
平成 28 年 9 月 16 日  
No.123

## 林業体験学習



人工林と天然林、それぞれの役割を学びました



9月8日(木)・9日(金)の2日間、当センターと津軽森林管理署では、青森県鱒ヶ沢町内の小学生を対象に林業体験学習(森林教室)を実施しました。この森林教室は林業体験を通じ、地元小学生が地域の産業である林業や白神山地世界遺産について理解を深めることを目的として、西海小学校5年生ならびに舞戸小学校4年生児童に対し毎年実施しています。

両日とも小雨模様でしたが、午前中は同町矢倉山国有林において育樹体験と矢倉山天然スギの見学を行いました。児童たちは19年生のスギ林で鋸を使った除伐、つる切り、枝打ちなどの育樹作業を体験、天然スギの巨木では幹周りや樹高について実際に器具を使用し計測にも挑戦してみました。計測結果は幹周り6.5m、胸高直径約2m、樹高約32m。

町の総合案内休憩所「くろもり館」で昼食を取り、午後は白神の森遊山道の散策を行いました。この森は白神山地世界遺産地域同様の森林景観を保っています。森の沸きつぼやブナ・ミズナラなど広葉樹の群落を巡り、児童たちは解説員(職員)の話聞きながら、木々の実を拾ったり昆虫や小動物に触れたり白神山地の森林生態系を感じていました。こうした体験をした子供たちがやがて大人となり、森林の魅力を伝えてくれることを願いたいと思います。(吉川)

北限の天然杉を囲み、大きさを体感しました

# 写真展のご案内



10月1日から1ヶ月間、西目屋村の白神山地ビジターセンター2階で写真展『白神山地の生態系』を開催します。白神山地周辺の生産者＝植物、消費者＝動物、分解者＝キノコ、それを取りまく風景など約120点の写真を展示する予定です。

## 大滝沼と岩木山（岩木山の写真も数点展示します）

白神山地の写真でよく使われる被写体といえば、植物ならアオモリマンテマやシラガミクワガタなどの固有種、動物ならクマゲラやイヌワシ。風景なら津軽峠からの景観や釣瓶落峠の紅葉、暗門の滝、大川タカヘグリ、青池あたりでしょうか。もちろんそれらは魅力的なのですが…

昨年4月に鱒ヶ沢に赴任して以来、休日にあちこち歩き回って色々撮影してきましたが、春先まず見つけて感動したのが花の大きなスマレサイシンです。夏の夜は3種類のホタルが近所で見られ、秋の紅葉はいわゆる名所に行かなくても見応え充分です。

白神山地周辺の『普通の何気ない自然』こそが、私には魅力的に目に映りました。今回の写真展では、これまであまり紹介されてこなかった普通種の花や、「これはどこ？」という何気ない場所の風景などに力を注ぎました。白神山地周辺の新たな一面をお楽しみいただけたら、と思います。（有本）

## 秋の森林教室を開催します!!

場 所：西目屋村 津軽峠・釣瓶落峠

日 時：平成28年10月15日（土）

参加費：300円

募集定員：20名（応募多数の場合は抽選を行います）

募集期間：9月15日（木）～10月4日（火）

応募方法：電話・FAXにてお申し込みください。

※お申込み前にホームページ、チラシ等で詳細をご確認ください。

